

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公開番号】特開2001-147398(P2001-147398A)

【公開日】平成13年5月29日(2001.5.29)

【出願番号】特願平11-330193

【国際特許分類】

G 02 B	26/10	(2006.01)
A 61 B	1/00	(2006.01)
G 02 B	23/26	(2006.01)

【F I】

G 02 B	26/10	1 0 1
A 61 B	1/00	3 0 0 D
G 02 B	23/26	C
G 02 B	23/26	D
G 02 B	23/26	A

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月13日(2006.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体の画像を得るために、被検体に光を照射し、その戻り光を検出する光走査型光学装置であって、

光ビームを射出するための光源部と、

前記光ビームを走査するための走査部と、

前記光ビームを前記被検体に集光させるための集光光学系と、

前記被検体からの戻り光を検出するための検出部とを備えており、

前記走査部は、少なくとも一本の軸の周りに揺動可能に支持された光偏向素子を含んでいる、光走査型光学装置。

【請求項2】

前記走査部は複数の反射体を備えており、前記反射体の少なくとも一つは少なくとも一本の軸の周りに揺動可能な反射面を持つ走査ミラーであり、前記走査ミラーは半導体製造プロセスを用いて作製されたマイクロマシンミラーである、請求項1に記載の光走査型光学装置。

【請求項3】

前記光源部は、ライトガイドを備え、

前記走査部は、前記ライトガイドと前記集光光学系との間に設けられた第1の走査ミラーと、前記第1の走査ミラーからの光ビームを前記集光光学系に方向付ける第2の走査ミラーとを備え、

前記第1の走査ミラーと前記第2の走査ミラーとが互いに独立な2本の軸の各々の周囲に揺動可能な反射面を有する、請求項1に記載の光走査型光学装置。

【請求項4】

請求項1ないし請求項3のいずれかに記載の光走査型光学装置を挿入部の先端部分に備えた内視鏡であって、光走査型光学装置の視野方向が内視鏡の挿入方向と一致している、

内視鏡。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明は、ある面においては、被検体の画像を得るために、被検体に光を照射し、その戻り光を検出する光走査型光学装置であって、光ビームを射出するための光源部と、光ビームを走査するための走査部と、光ビームを被検体に集光させるための集光光学系と、被検体からの戻り光を検出するための検出部とを備えており、走査部は、少なくとも一本の軸の周りに揺動可能に支持された光偏向素子を含んでいる。